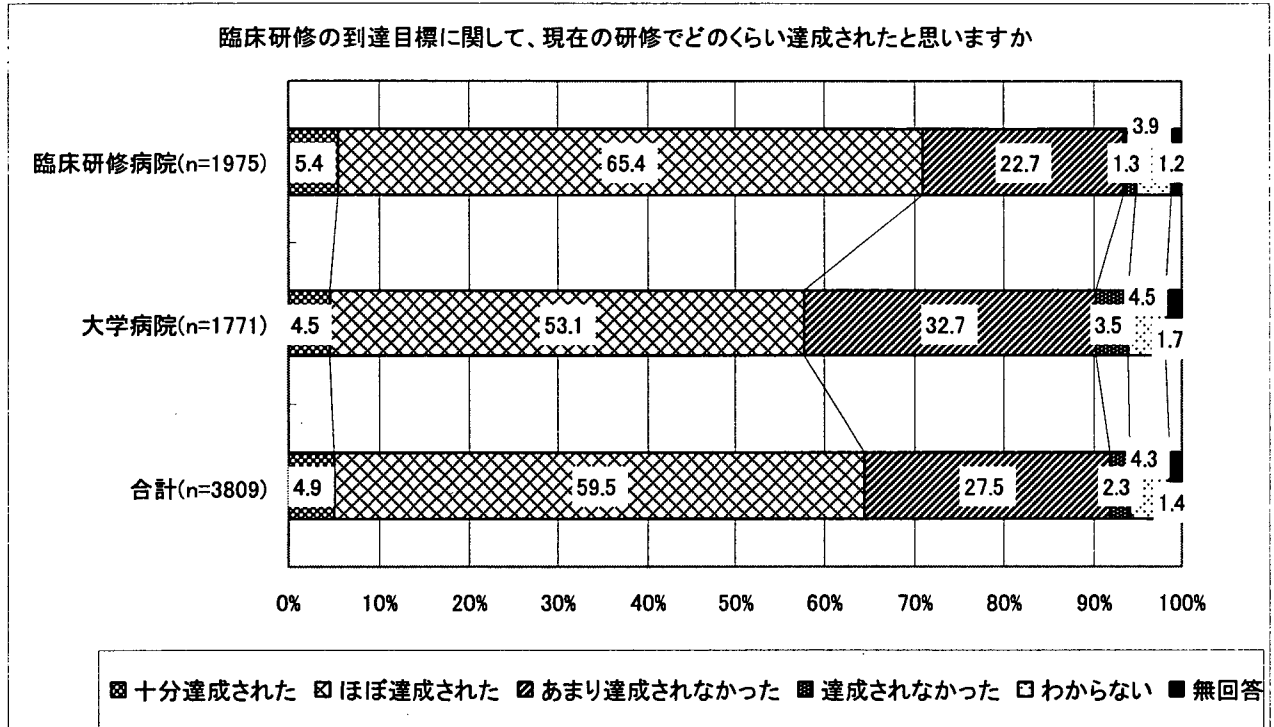


(3) 目標が十分、もしくはほぼ達成されたとした研修医の割合は、全体では 64.4%、臨床研修病院では 70.8%、大学病院では 57.6%であり、臨床研修病院の方が大学病院より高い。

●平成 17 年度 臨床研修の目標達成度（臨床研修病院 / 大学病院）



## 2. 臨床研修修了後の進路について

### (1) 臨床研修修了後の研修・勤務先

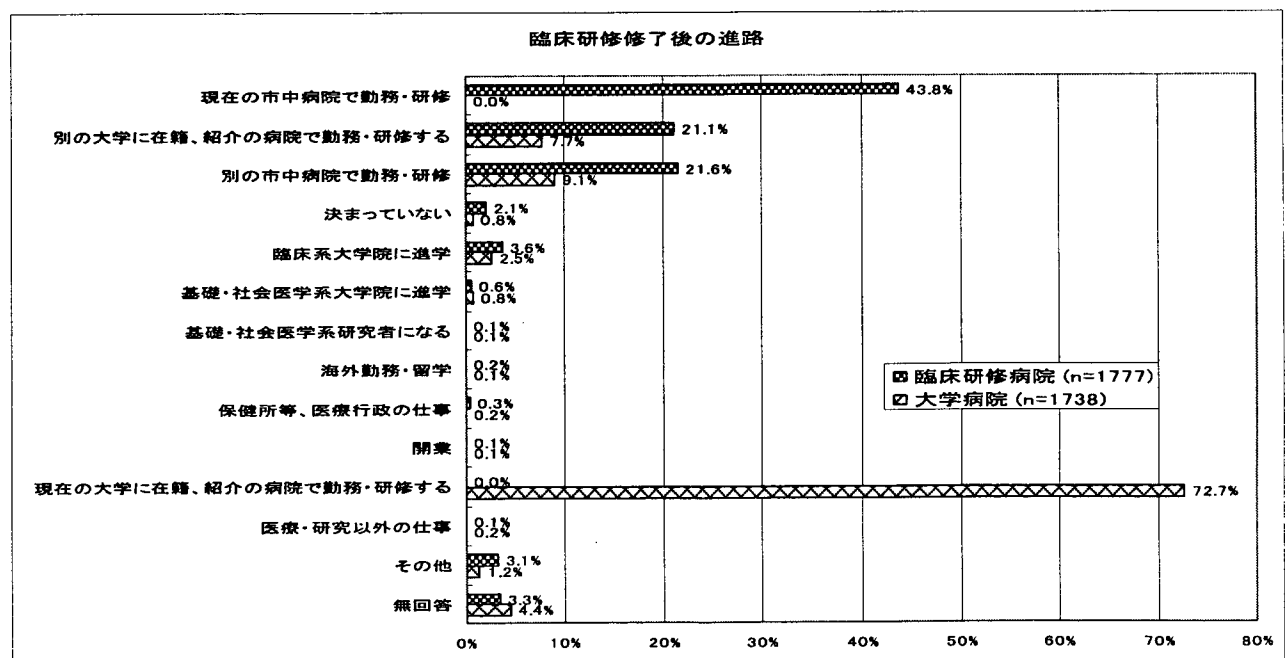
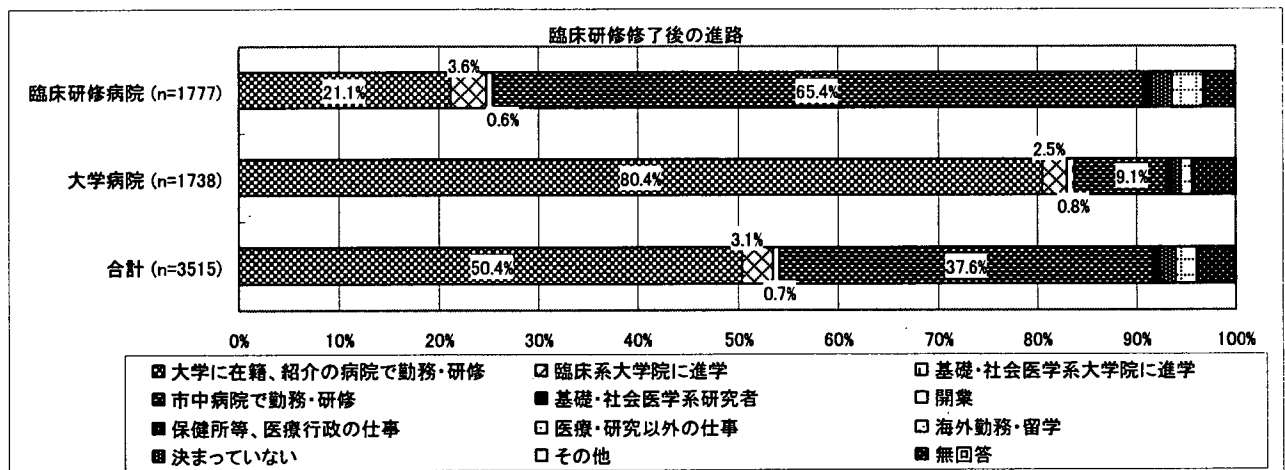
臨床研修修了後の進路は、大学病院で勤務・研修を行う者は50.4%（大学院を入れると54.2%）、市中病院で勤務・研修を行う者は37.6%であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、臨床研修後に大学で勤務・研修を行う者の割合は80.4%（大学院を入れると83.7%）であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は21.1%（大学院を入れると25.3%）であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、研修修了後に市中病院で勤務・研修を行う者の割合が9.1%であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は65.4%であった。

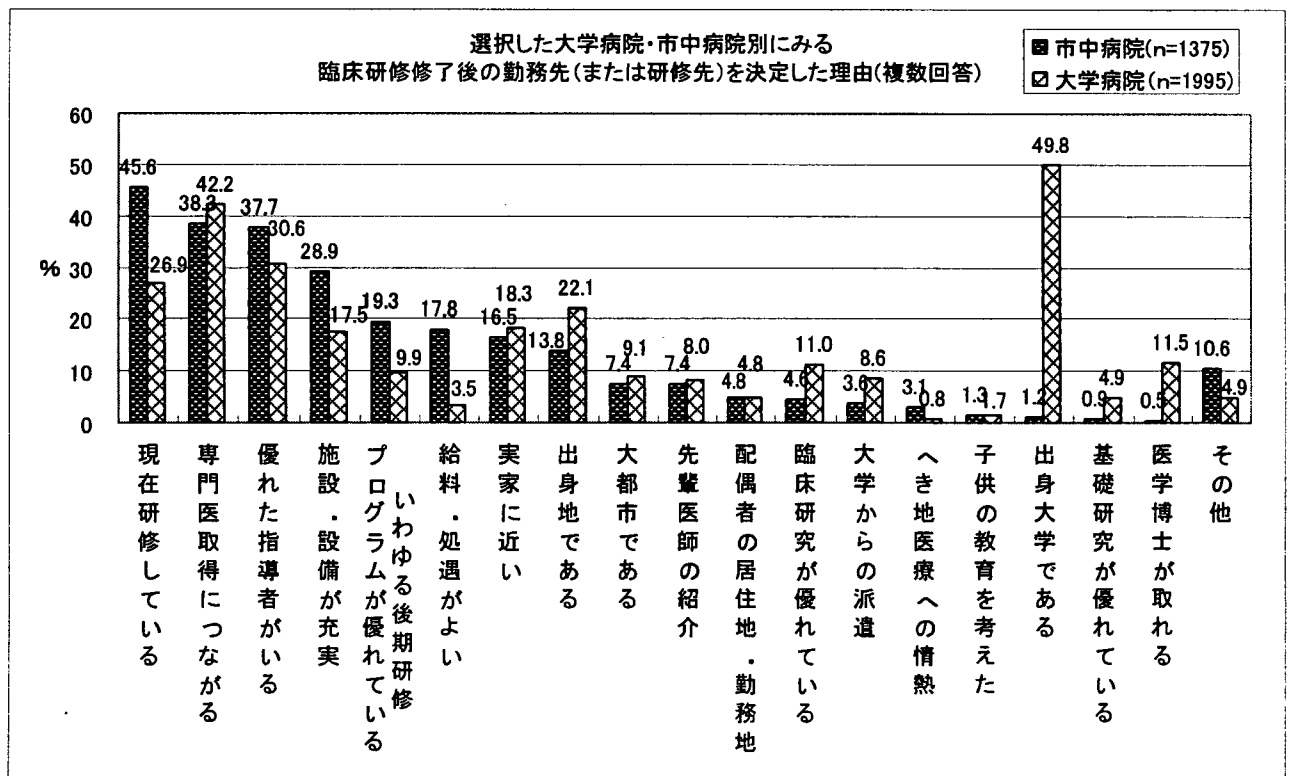
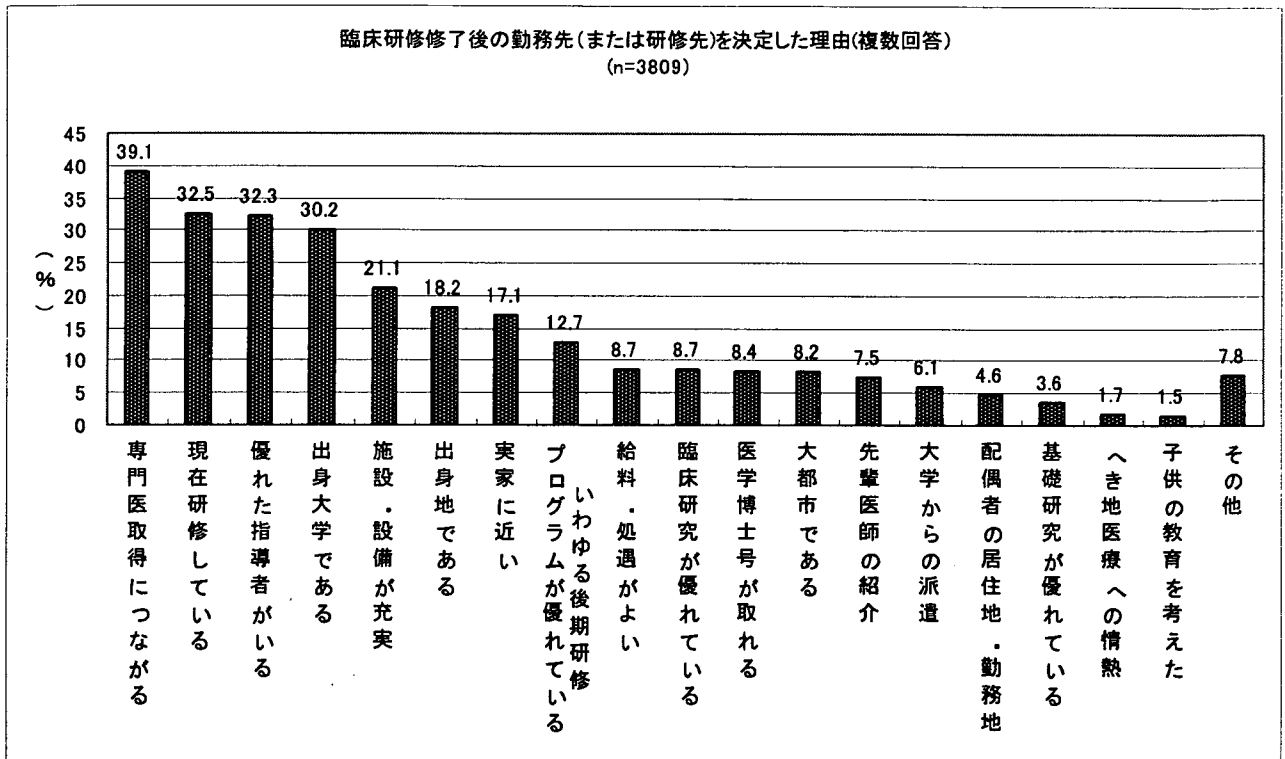
研修後も臨床研修を行った病院にて研修・勤務を引き続き行う傾向があり、特に大学病院ではその傾向が強い。

### ●臨床研修後の進路（臨床研修病院 / 大学病院）



(2) 研修修了後の研修・勤務先を決定した理由

臨床研修修了後の勤務・研修先を決定した理由では、全体では、「専門医取得につながる」(39.1%)、「現在研修している」(32.5%)、「優れた指導者がいる」(32.3%)、「出身大学である」(30.2%)等が上位を占めた。

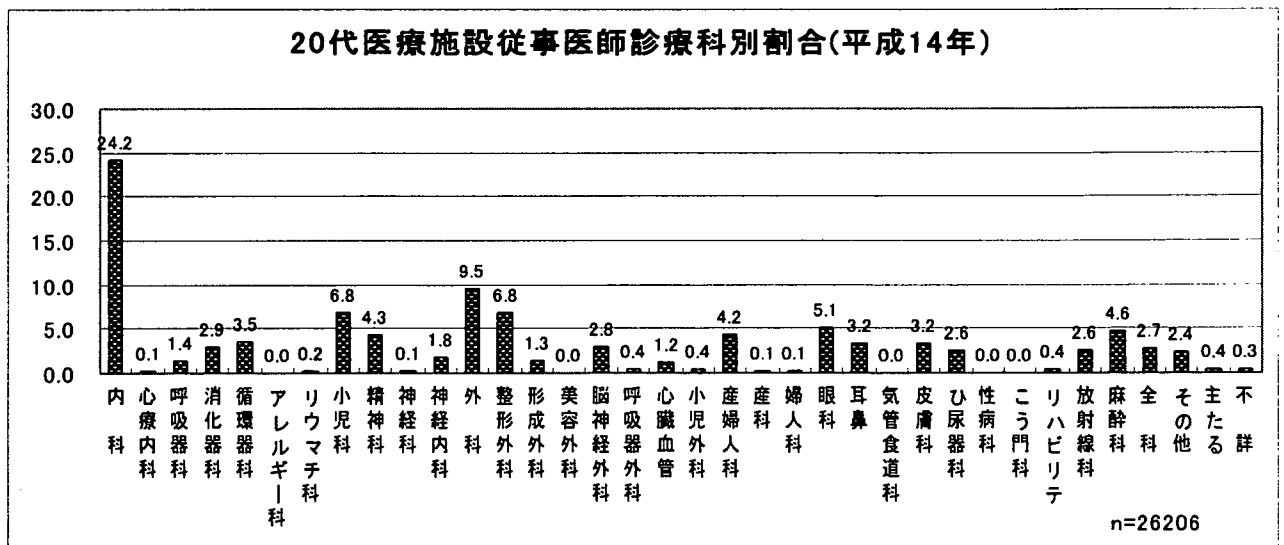


(3) 研修後に専門としたい診療科

専門とする診療科が決まっていると答えた 3298 人のうち、最も多い科は内科で 14.6%であった。また、小児科は 7.5%、産婦人科は 4.9%、麻酔科は 5.8%であった。小児科、産婦人科、麻酔科に関しては、20 代医療施設従事医師診療科別割合（平成 14 年）よりも高くなっている。

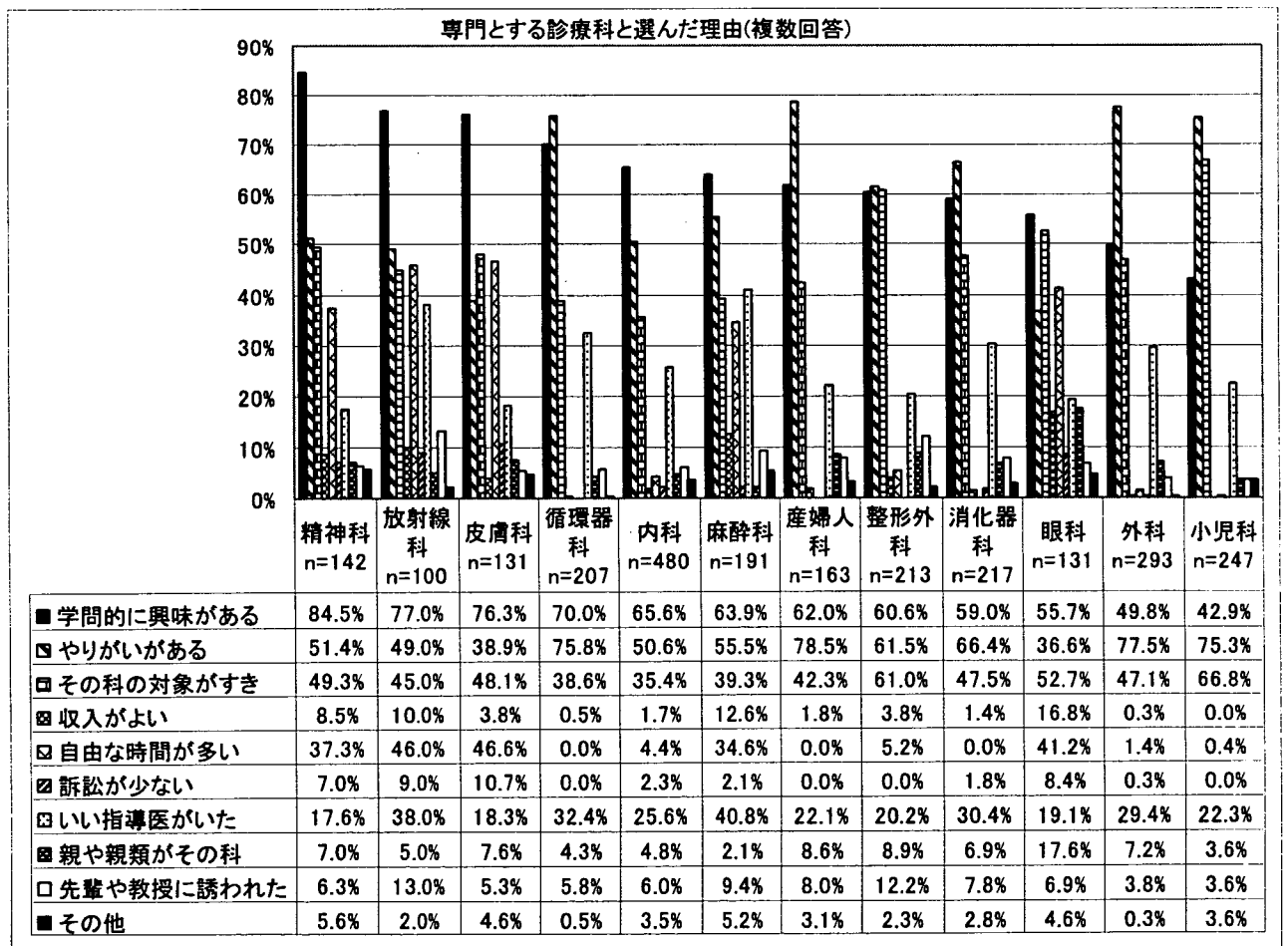
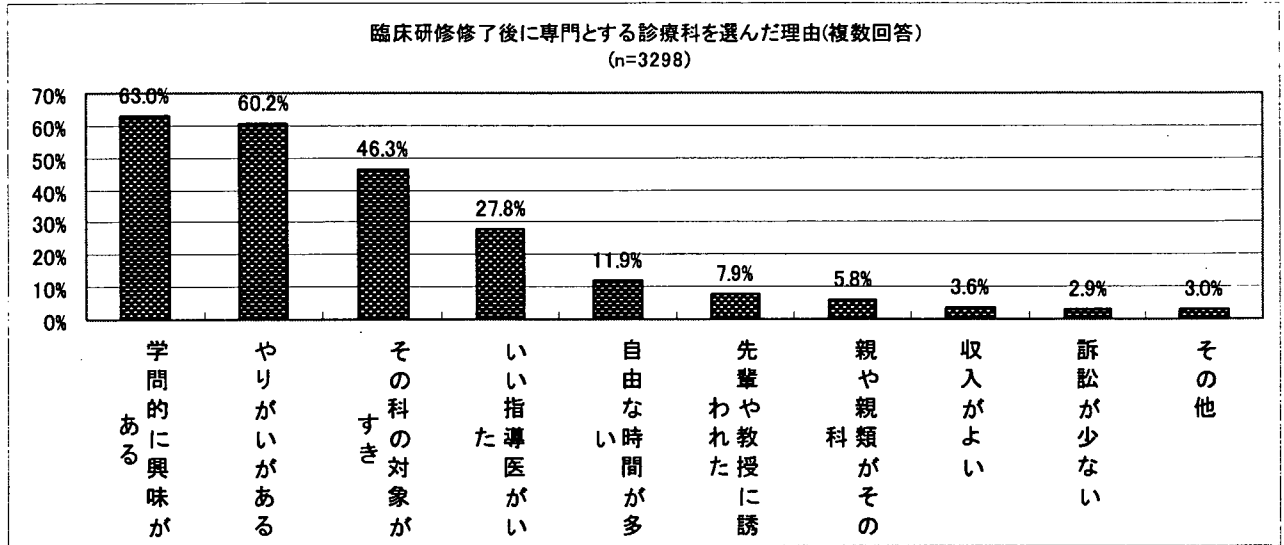
診療科	人数	割合		人数	割合
内科	480	14.6%	脳神経外科	57	1.7%
外科	293	8.9%	心臓血管外科	46	1.4%
小児科	247	7.5%	総合診療科	25	0.8%
消化器科	217	6.6%	小児外科	16	0.5%
整形外科	213	6.5%	呼吸器外科	15	0.5%
循環器科	207	6.3%	リハビリテーション科	15	0.5%
麻酔科	191	5.8%	病理	15	0.5%
産婦人科	163	4.9%	基礎系	11	0.3%
精神科	142	4.3%	リウマチ科	8	0.2%
眼科	131	4.0%	心療内科	6	0.2%
皮膚科	131	4.0%	美容外科	6	0.2%
放射線科	100	3.0%	緩和ケア	5	0.2%
呼吸器科	92	2.8%	医療行政職	5	0.2%
泌尿器科	86	2.6%	アレルギー科	3	0.1%
耳鼻咽喉科	84	2.5%	その他	67	2.0%
形成外科	71	2.2%	無回答	18	0.5%
救命救急	70	2.1%	総計	3298	100.0%
神経内科	62	1.9%			

<参考>



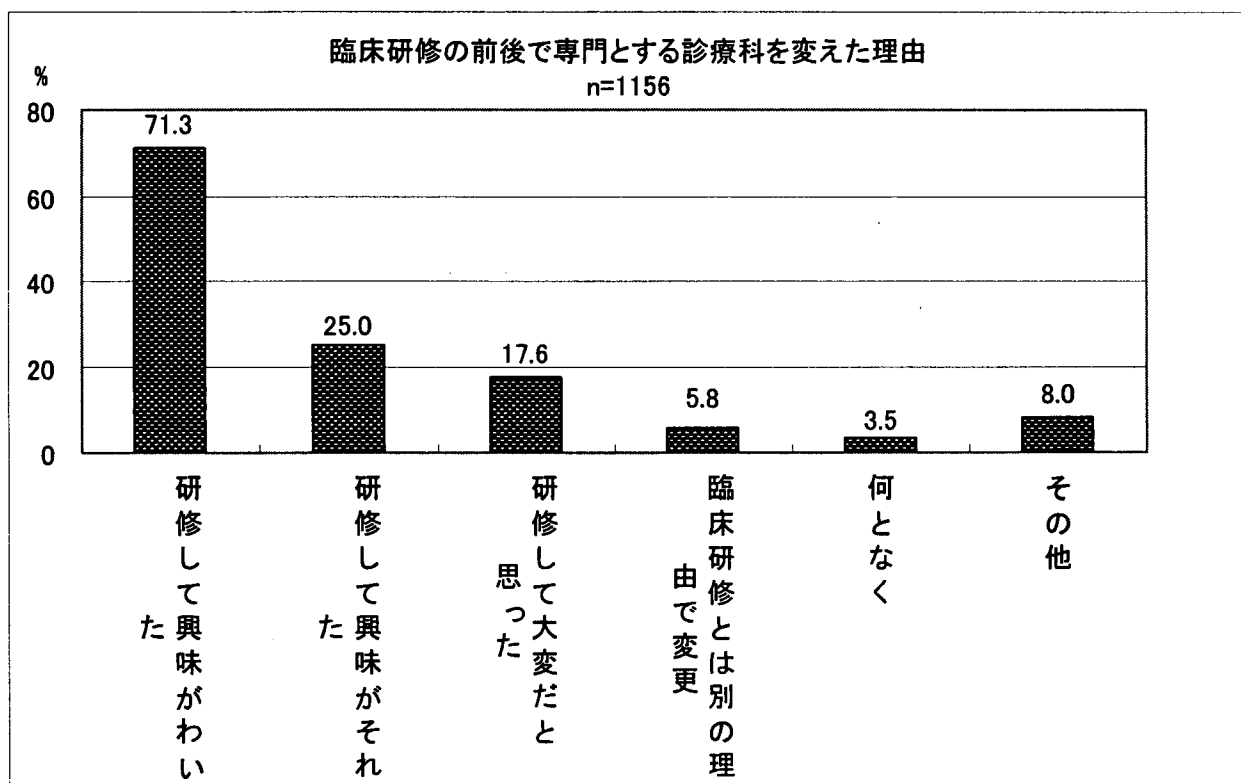
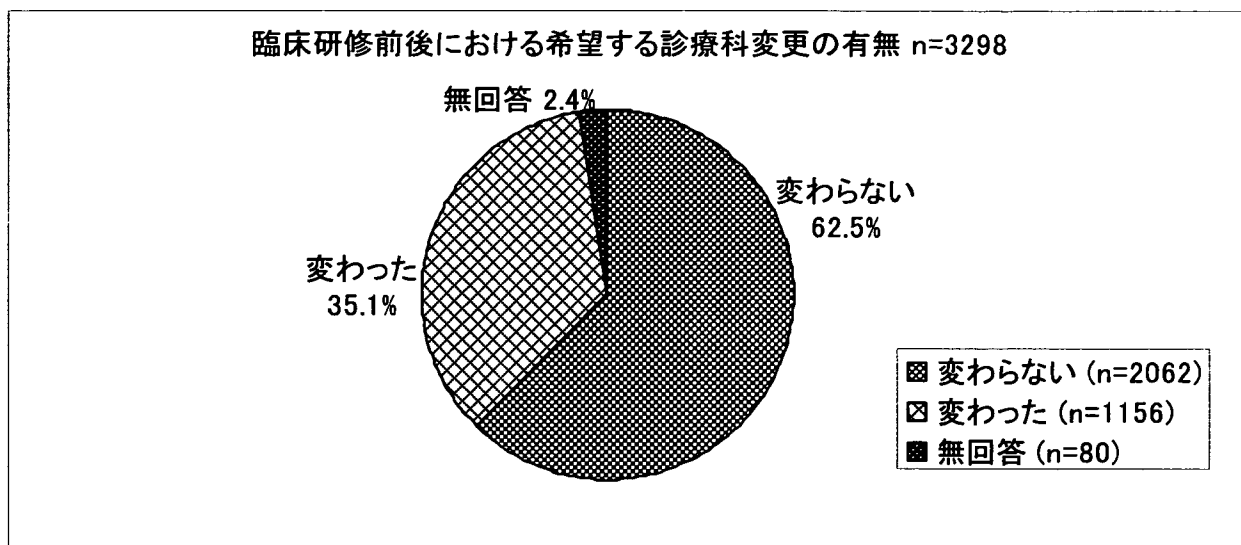
(4) 診療科を選んだ理由

「学問的に興味がある」(63.0%)、次いで、「やりがいがある」(60.2%)が多く、精神科、放射線科、皮膚科、循環器科では「学問的に興味がある」が70%以上となっており、産婦人科、外科、小児科、循環器科では「やりがいがある」が70%以上となっていた。



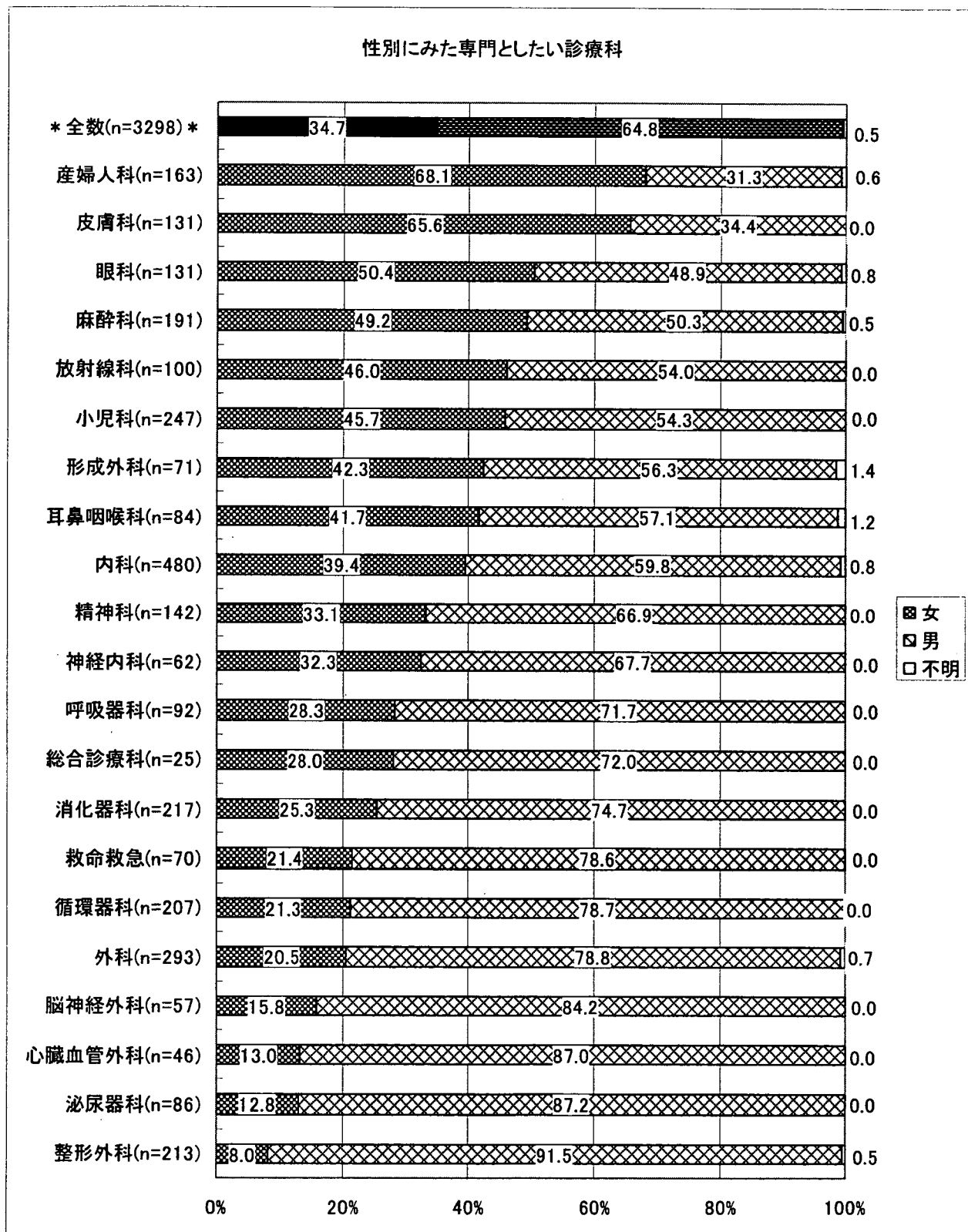
(5) 専門としたい診療科の変化と理由

臨床研修の前後で将来専門とする診療科を変えた研修医は、1156人（35.1%）であった。また、理由は「研修してみて興味がわいたから」（71.3%）が最も多く、「研修してみて大変だと思った」は17.6%であった。



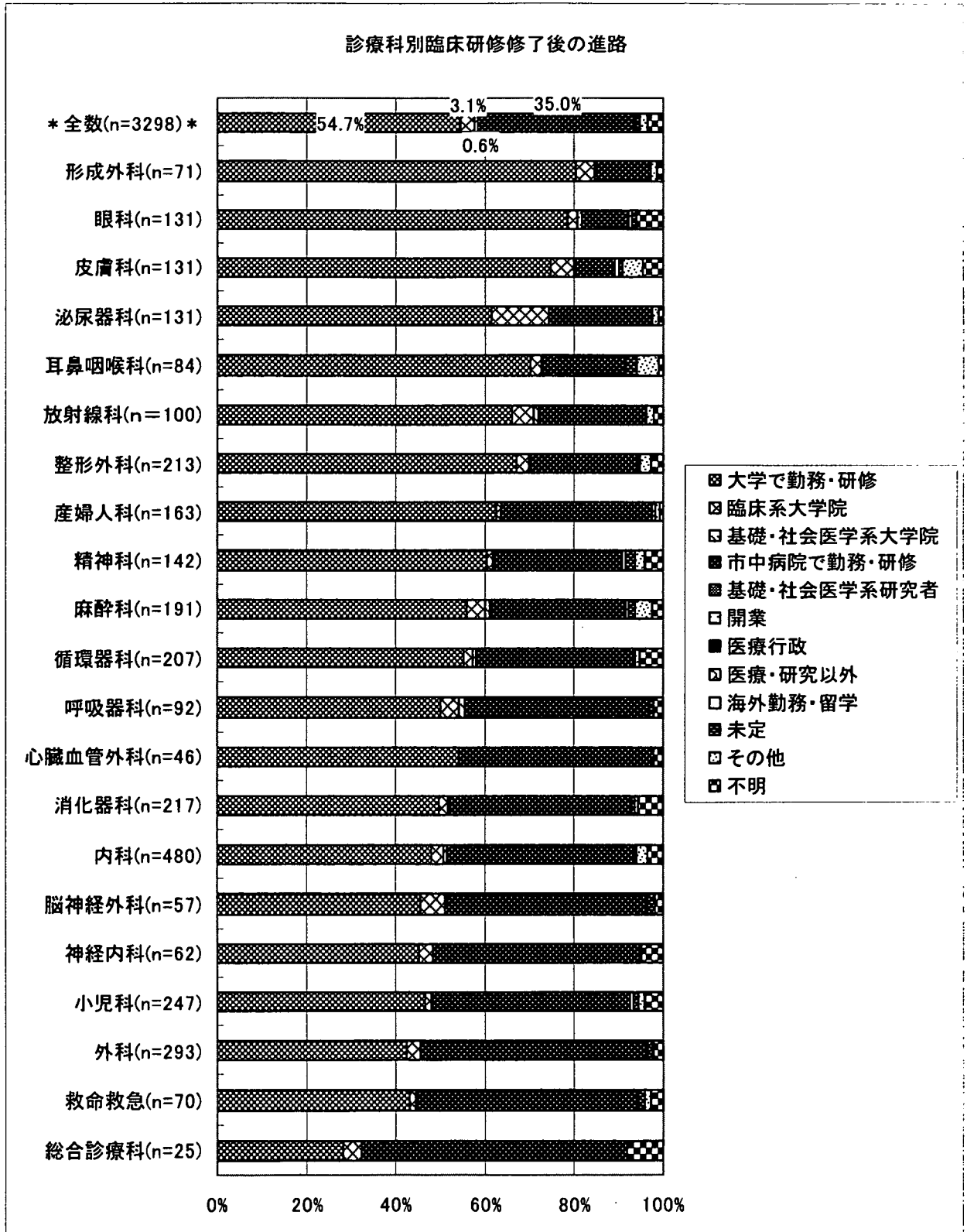
(6) 性別にみた専門としたい診療科

女性医師の割合が高いのは、産婦人科（68.1%）皮膚科（65.6%）、眼科（50.4%）等であり、女性医師の割合が低いのは、整形外科（8.0%）、泌尿器科（12.8%）、心臓血管外科（13.0%）等であった。



(7) (診療科別) 臨床研修修了後の進路

大学病院で勤務・研修する割合が高い科は、形成外科、眼科、皮膚科等であり、市中病院で勤務・研修する割合が高い科は、総合診療科、外科、救命救急等であった。



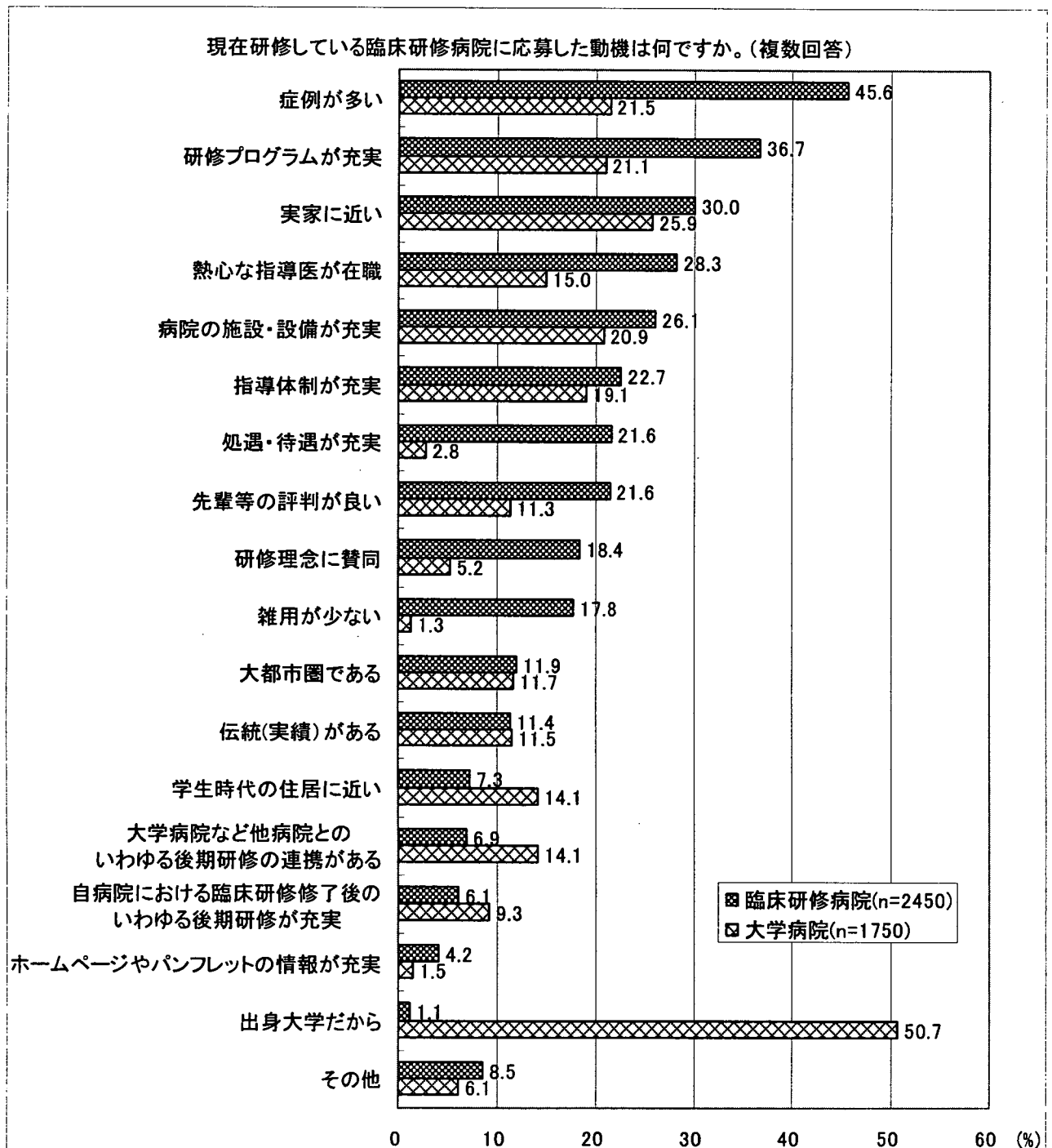


## < 1 年次研修医への調査より >

### 1. 臨床研修体制・プログラムについて

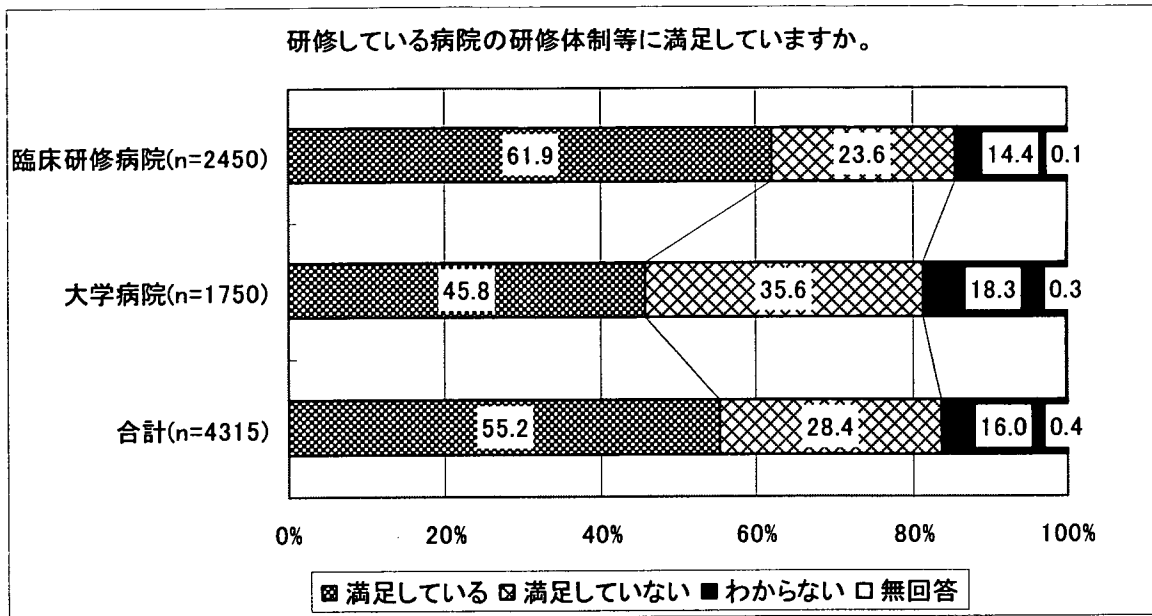
#### (1) 現在研修している病院に応募した動機

現在研修している臨床研修病院に応募した動機としては、臨床病院では「症例が多い」(45.6%)、「研修プログラムが充実」(36.7%)、大学病院では「出身大学だから」(50.7%)が多い。

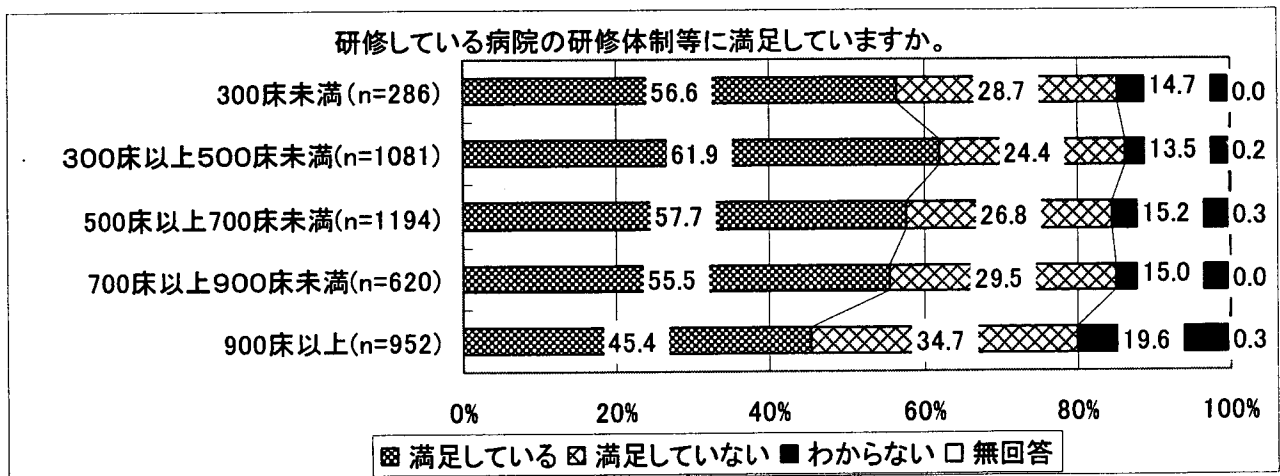


(2) 研修体制についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

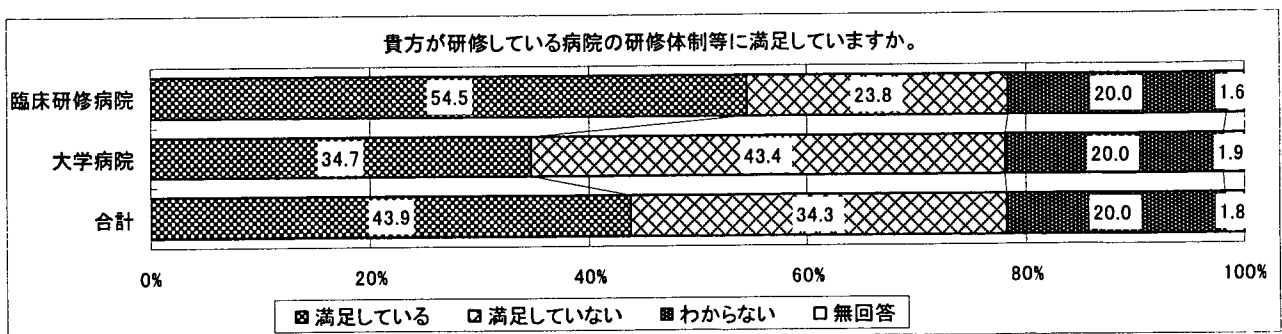
●平成 17 年度 研修体制についての満足度 ( 臨床研修病院 / 大学病院 )



●平成 17 年度 研修体制についての満足度 ( 病床規模別 )



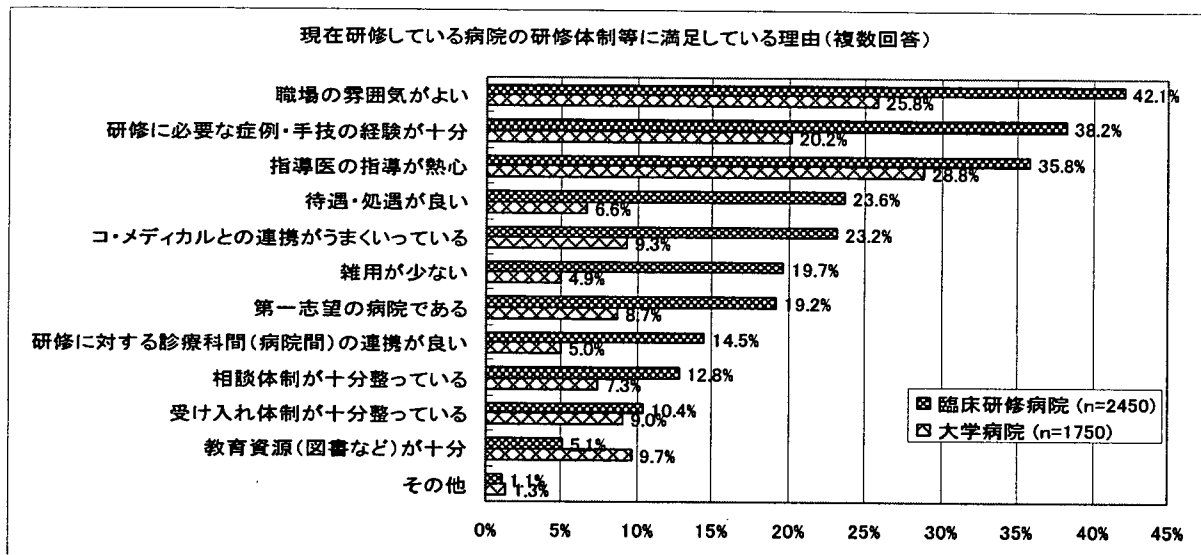
●平成 16 年度 研修体制についての満足度



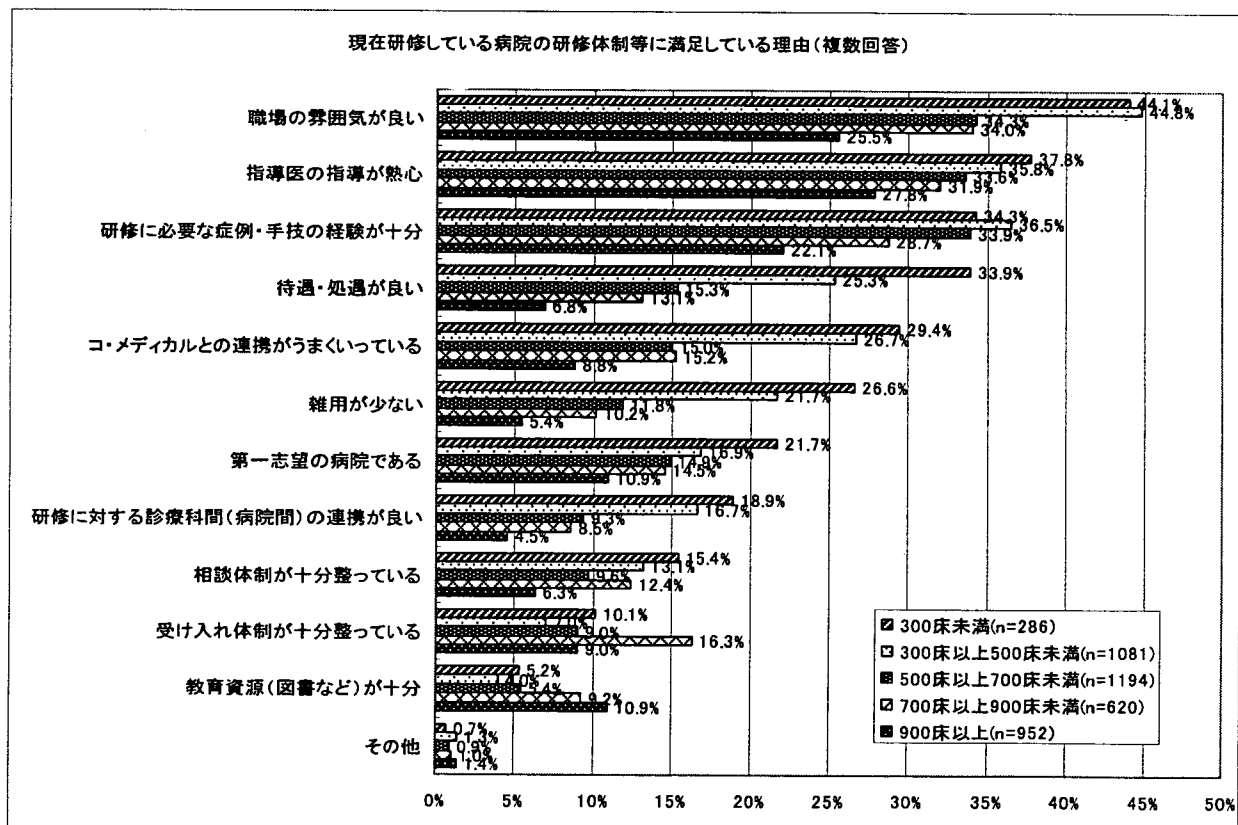
(3) 研修体制に満足している理由、満足していない理由

- 1) 研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気が良い」(42.1%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(38.2%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(28.8%)等が多い。また、病床数の少ない病院において「職場の雰囲気がよい」等の理由が多い。

●平成17年度 研修体制に満足している理由 (臨床研修病院 / 大学病院)

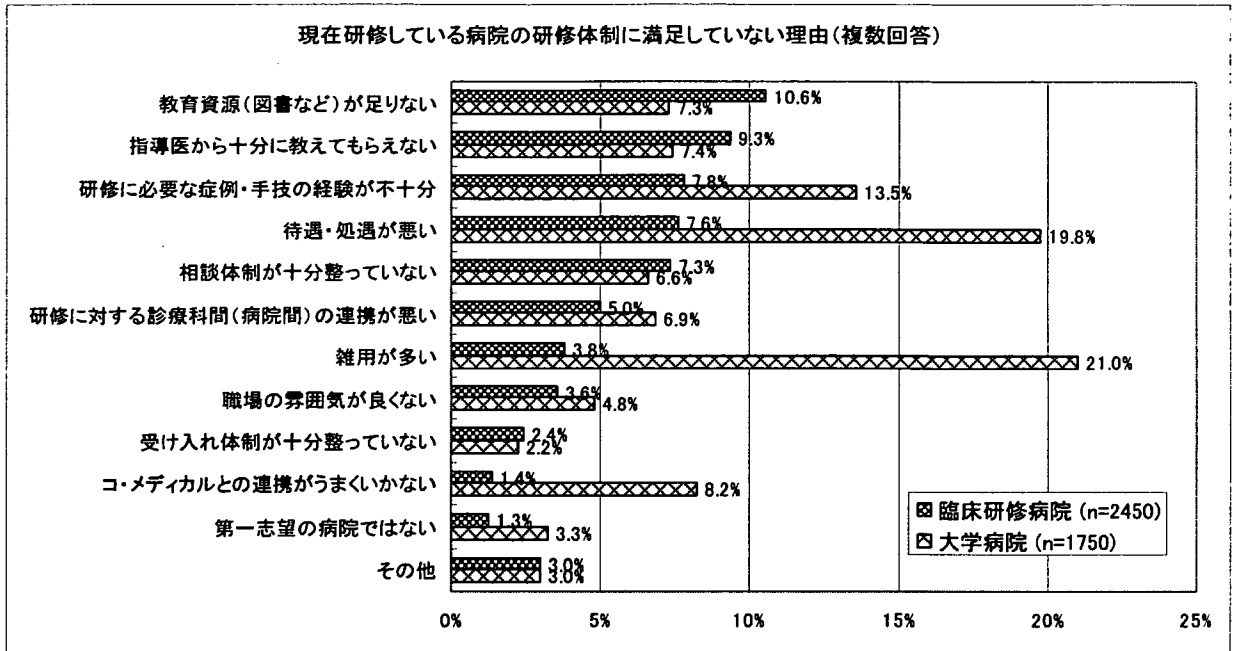


●平成17年度 研修体制に満足している理由 (病床規模別)

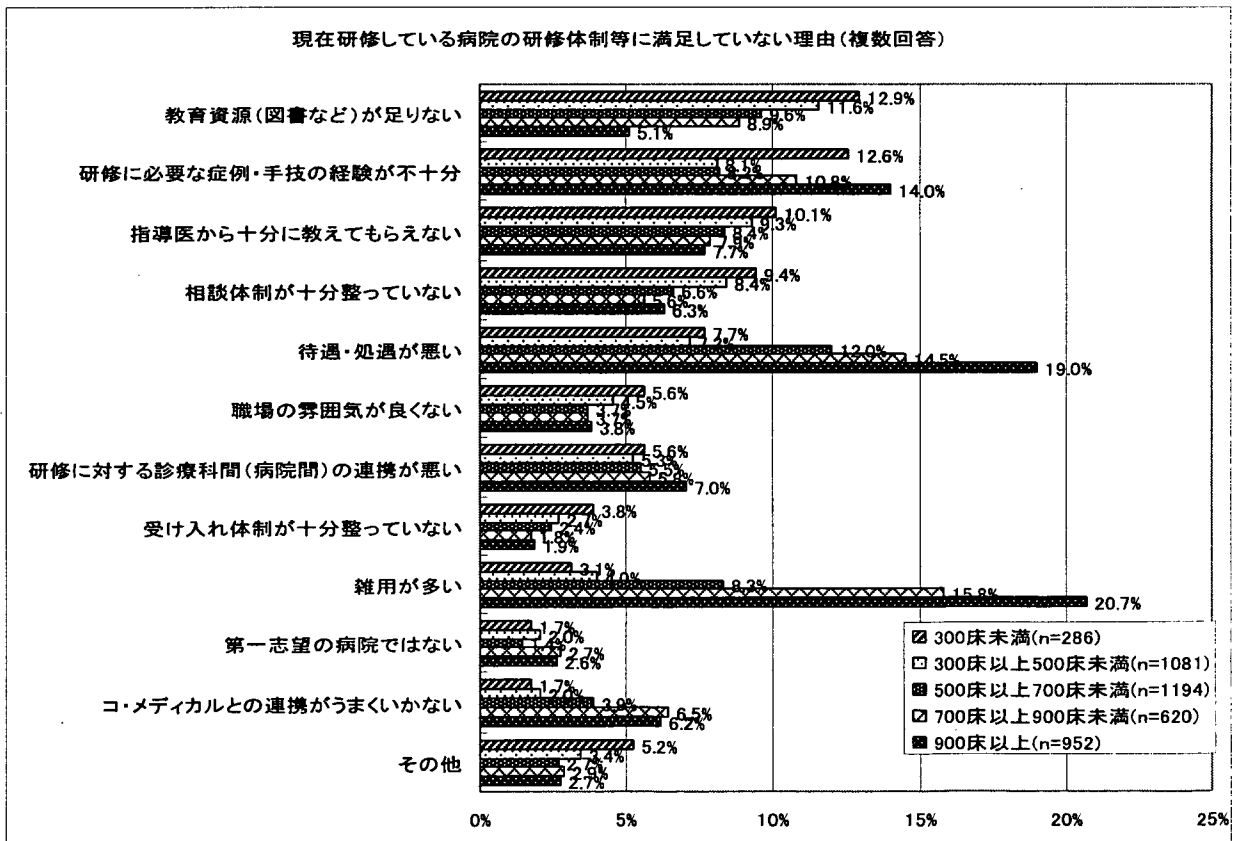


- 2) 研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「教育資源（図書等）が足りない」（10.6%）、大学病院においては「雑用が多い」（21.0%）「待遇・処遇が悪い」（19.8%）等が多い。

●平成17年度 研修体制に満足していない理由（臨床研修病院 / 大学病院）

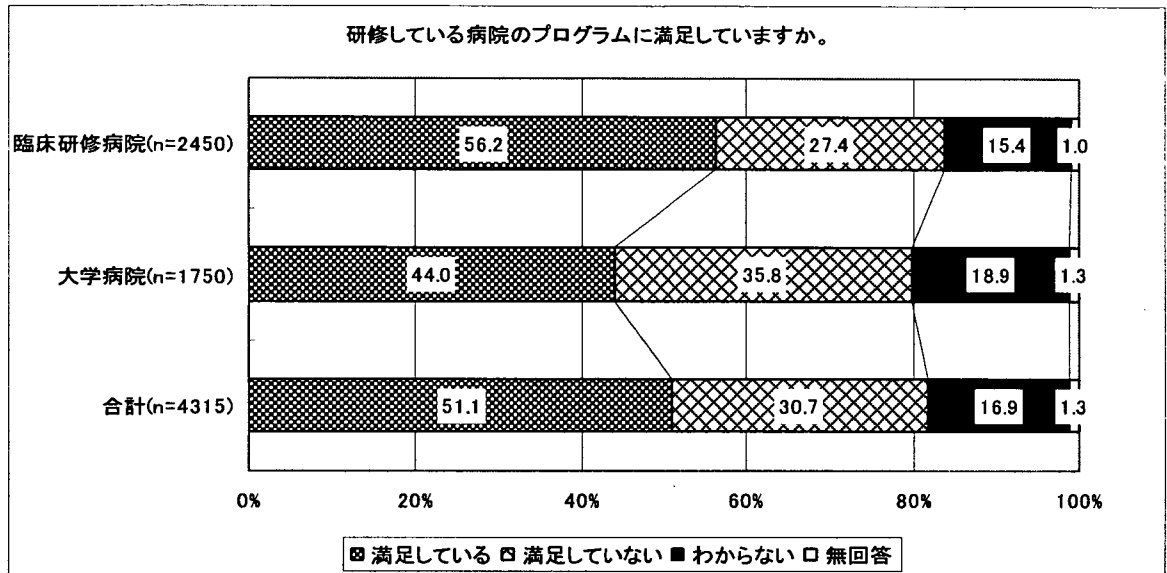


●平成17年度 研修体制に満足していない理由（病床規模別）

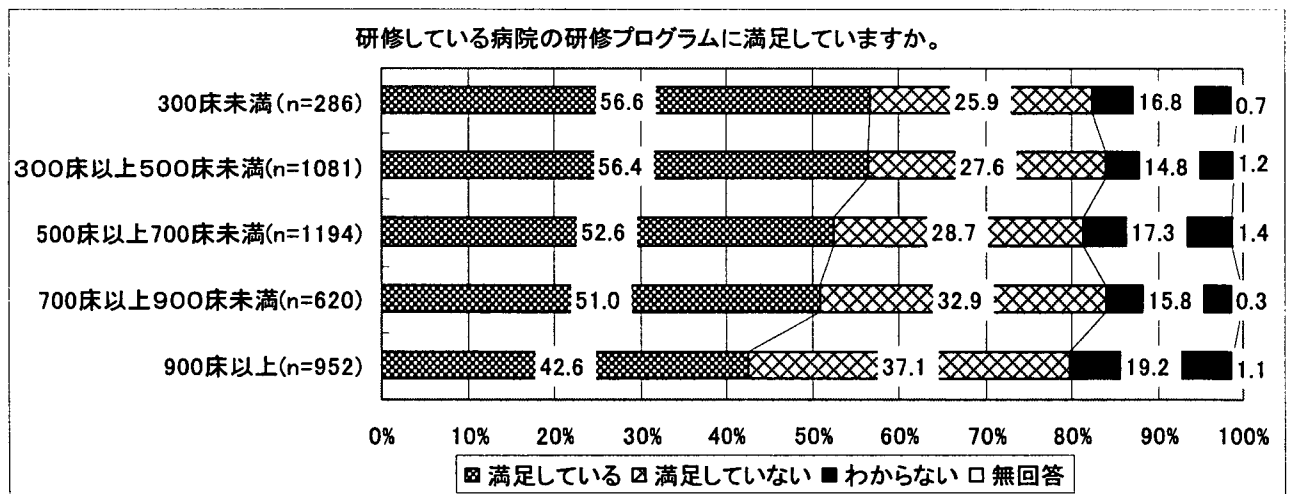


(4) 研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高く、また、病床規模が小さい病院ほど高い。

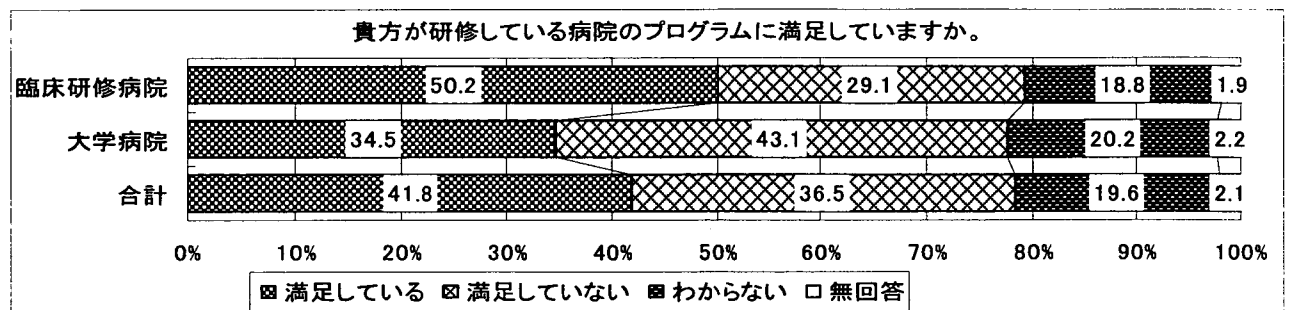
●平成17年度 研修プログラムについての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）



●平成17年度 研修プログラムについての満足度（病床規模別）



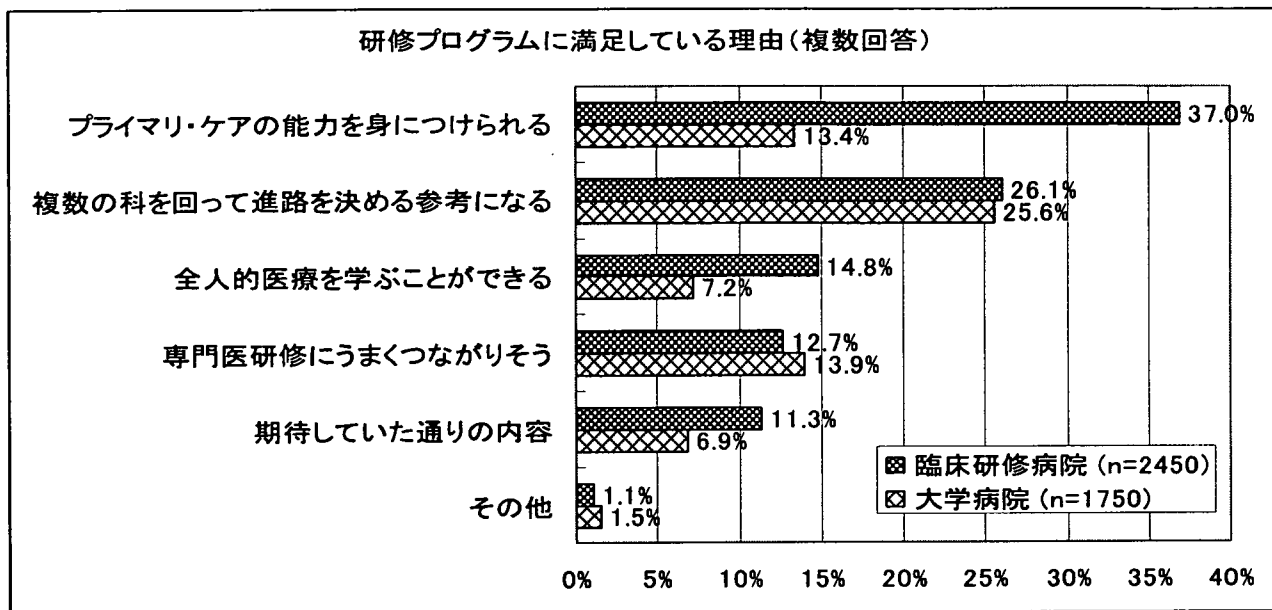
●平成16年度 研修プログラムについての満足度



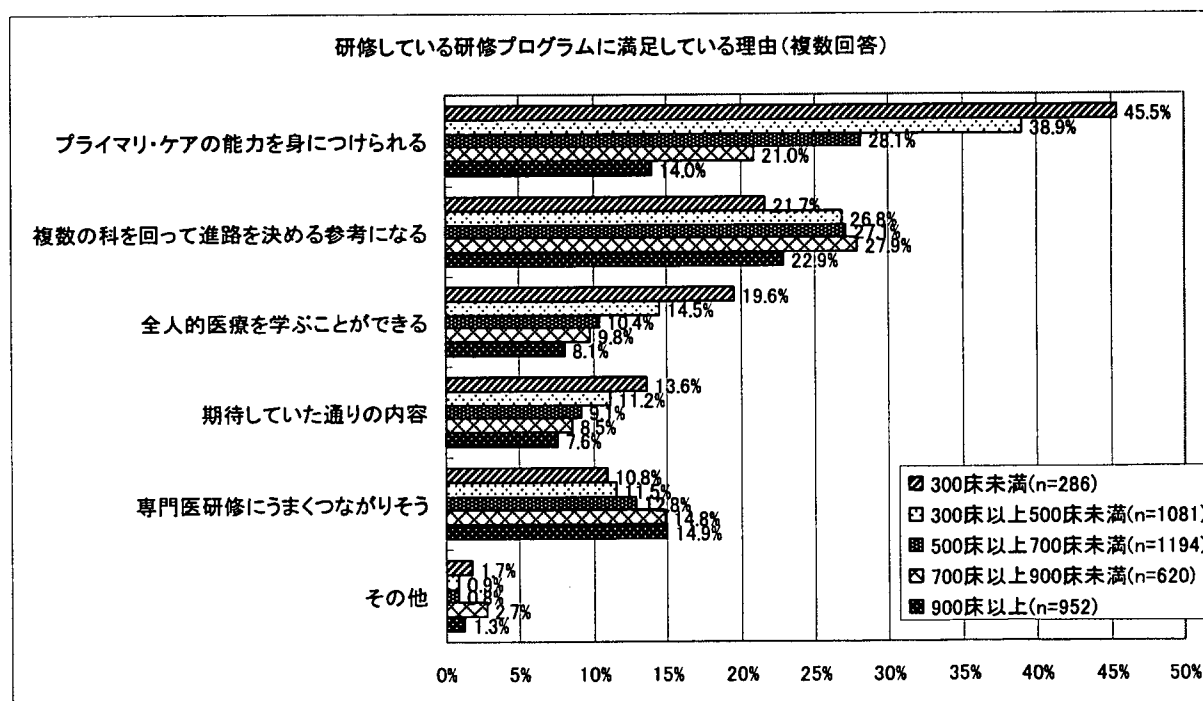
(5) 研修プログラムに満足している理由、満足していない理由

- 1) 研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.0%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(26.1%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.6%) 等が多い。また、特に300床未満の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」「全人的医療を学ぶことができる」が300床以上の病院に比べ多い。

●平成17年度 研修プログラムに満足している理由（臨床研修病院 / 大学病院）

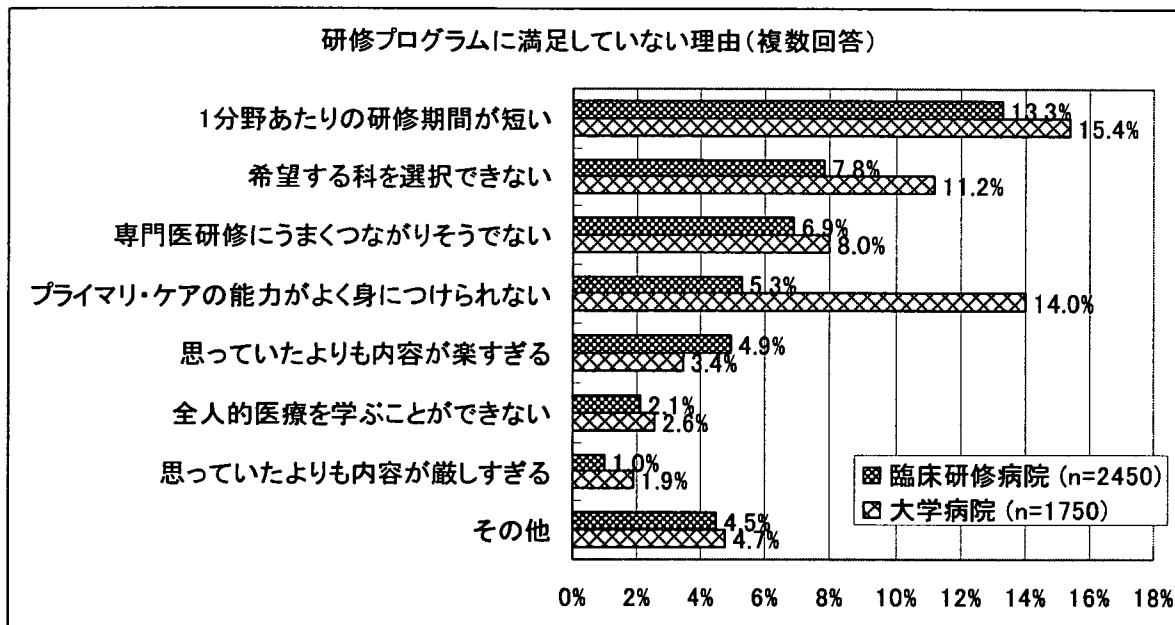


●平成17年度 研修プログラムに満足している理由（病床規模別）

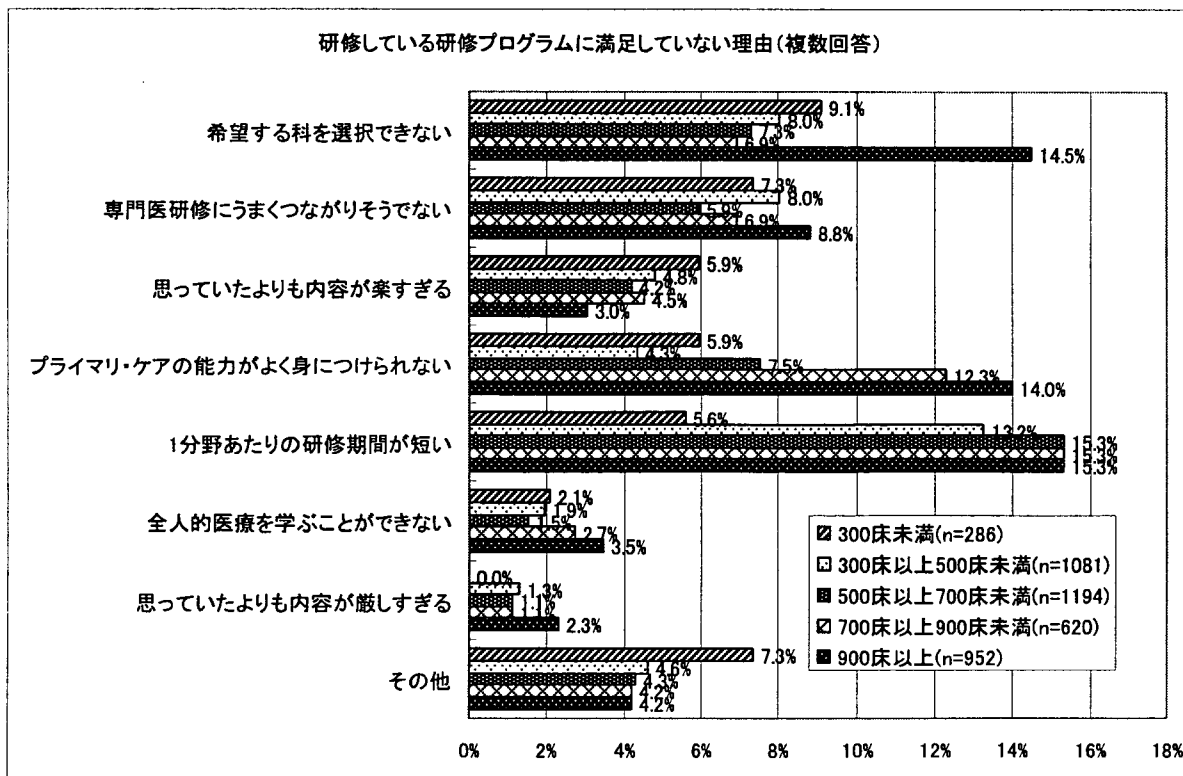


2) 研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(13.3%)、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短」(15.4%)、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない」(14.0%)等が多い。

●平成17年度 研修プログラムに満足していない理由(臨床研修病院 / 大学病院)



●平成17年度 研修プログラムに満足していない理由(病床規模別)



## <病院に関する調査より>

### (1) 有効回答率

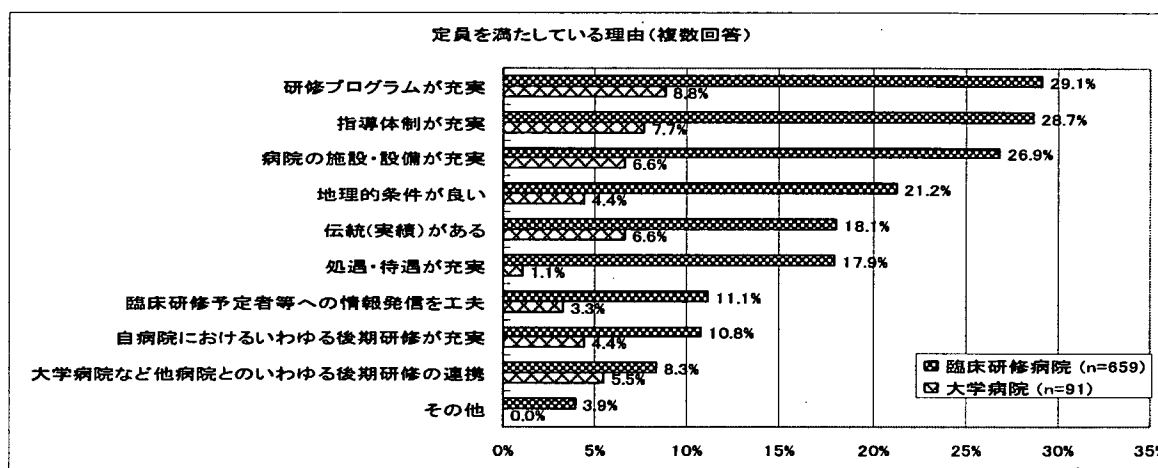
対象病院数 849施設（臨床研修病院745施設、大学病院104施設）

回答病院数 755施設（臨床研修病院659施設、大学病院 91施設）

有効回答率 88.9%（臨床研修病院88.5%、大学病院87.5%）

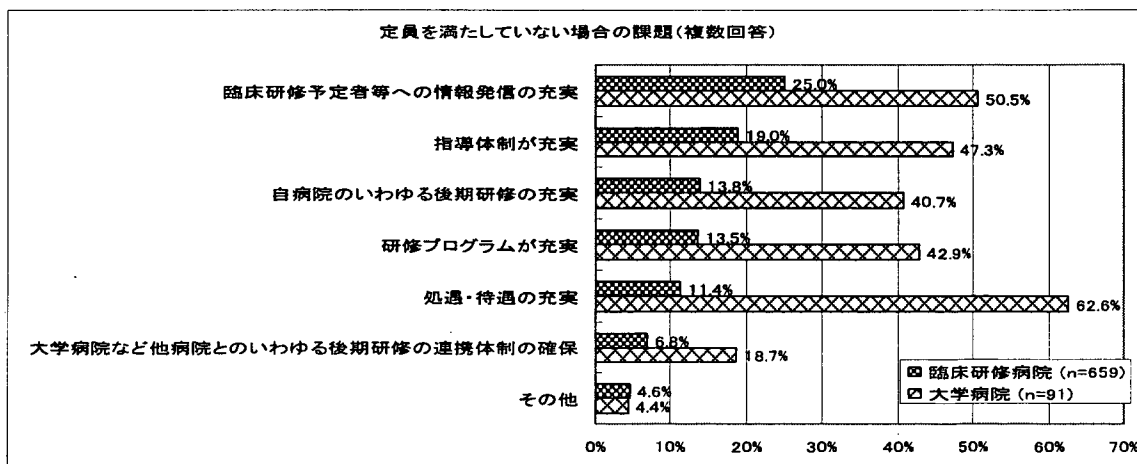
### (2) 定員を満たしている理由

募集定員を満たしている理由として、臨床研修病院においては「研修プログラムが充実」(29.1%)、「指導体制が充実」(28.7%)、「病院の施設・設備が充実」(26.9%)が、大学病院においては「研修プログラムが充実」(8.8%)等が多く挙げられた。



### (3) 定員を満たしていない場合の課題

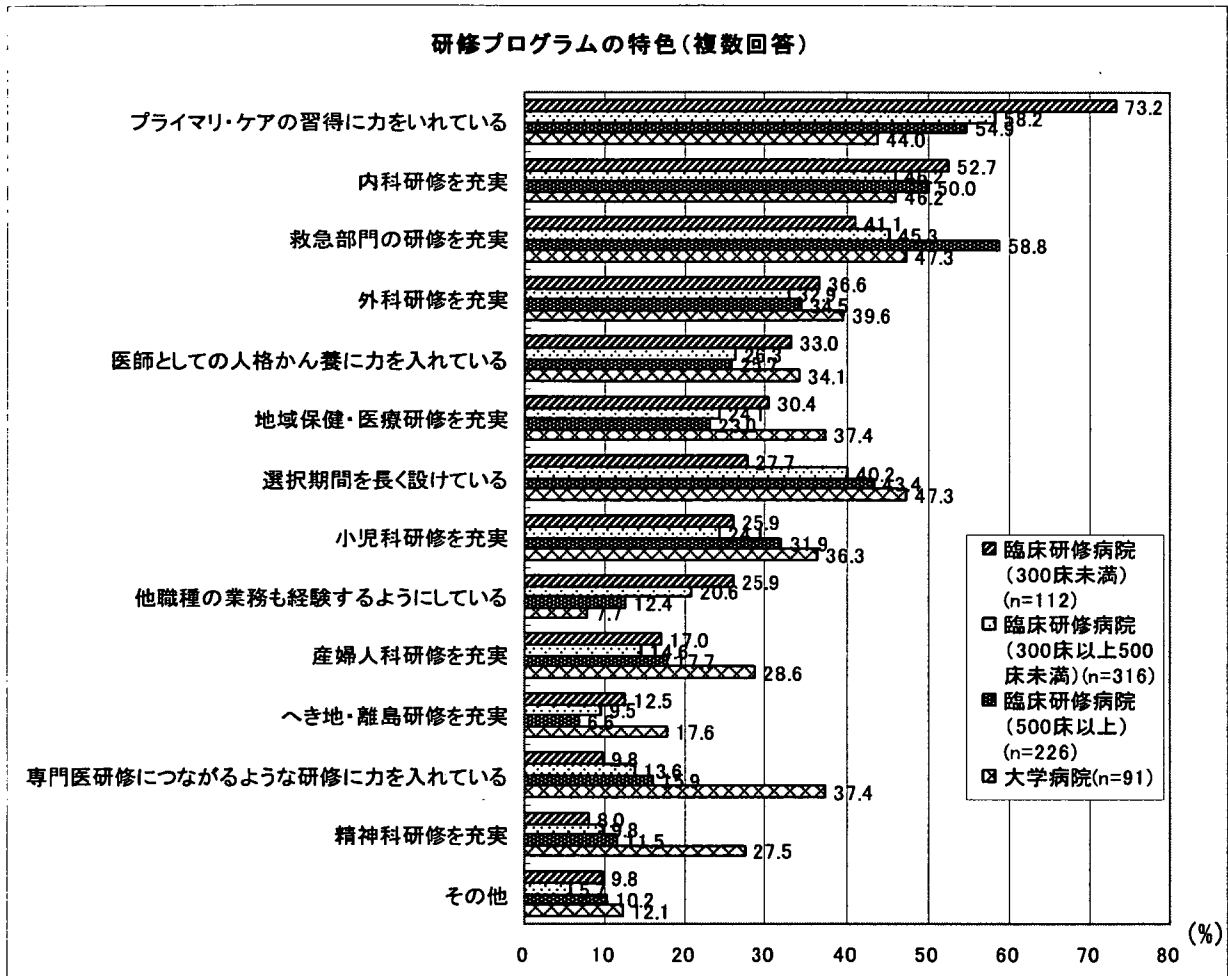
研修医が募集定員を満たしていない場合の課題として、臨床研修病院においては「臨床研修予定者等への情報発信の充実」(25.0%)、「指導体制が充実」(19.0%)等が、大学病院においては「処遇・待遇の充実」(62.6%)、「臨床研修予定者等への情報発信の充実」(50.5%)等が多く挙げられた。





#### (4) 研修プログラムの特色

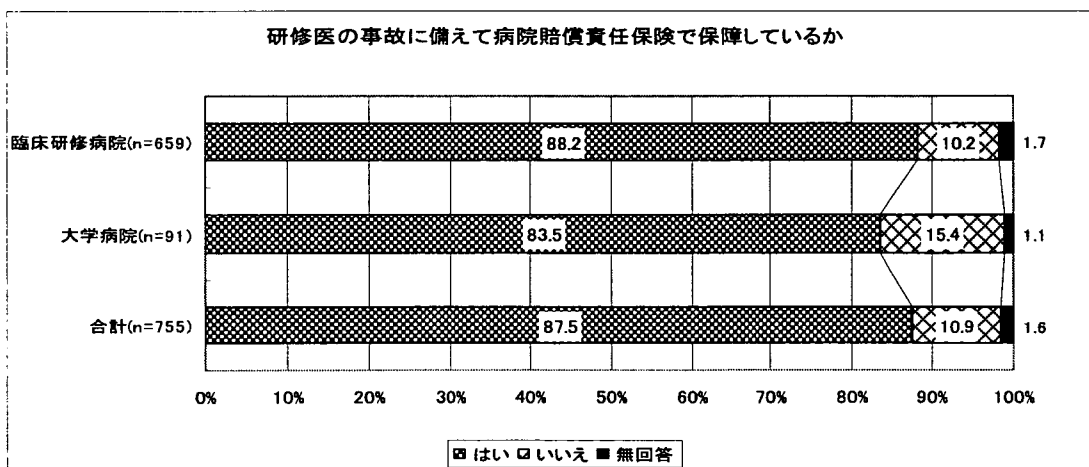
研修プログラムの特色として挙げられたのは、臨床研修病院では「プライマリ・ケアの習得に力をいれている」「内科研修を充実」等が、大学病院では「救急部門の研修を充実」「選択期間を長く設けている」等が挙げられている。



#### (5) 研修医の処遇・待遇について

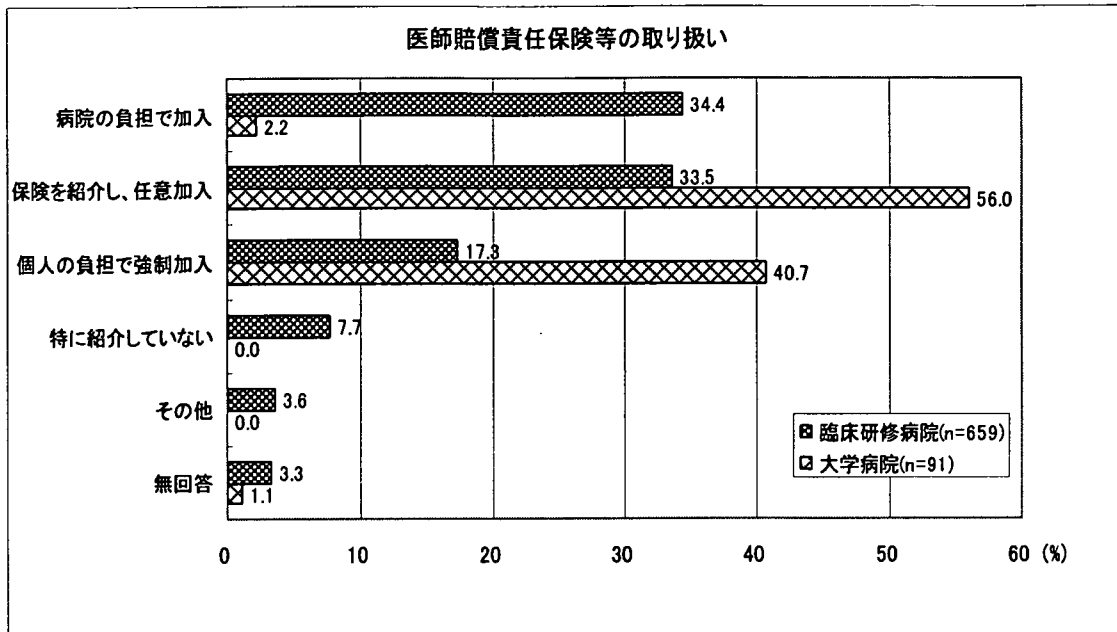
##### 1) 事故に備えての病院賠償責任保険での保障

臨床研修病院で88.2%、大学病院で83.5%が保障されていた。



2) 事故に備えての医師賠償責任保険等の取り扱い

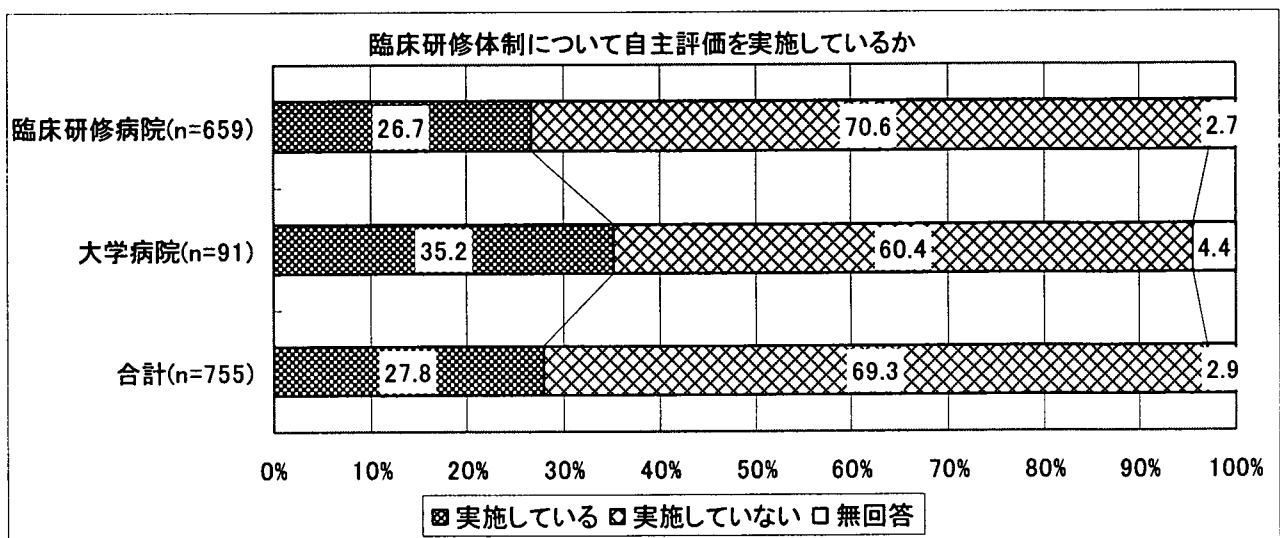
臨床研修病院では「病院の負担で加入」(34.4%)、「保険を紹介し任意加入」(33.5%)等が多く、大学病院では「保険を紹介し任意加入」(56.0%)、「個人の負担で強制加入」(40.7%)等が多い。



(6) 臨床研修における評価について

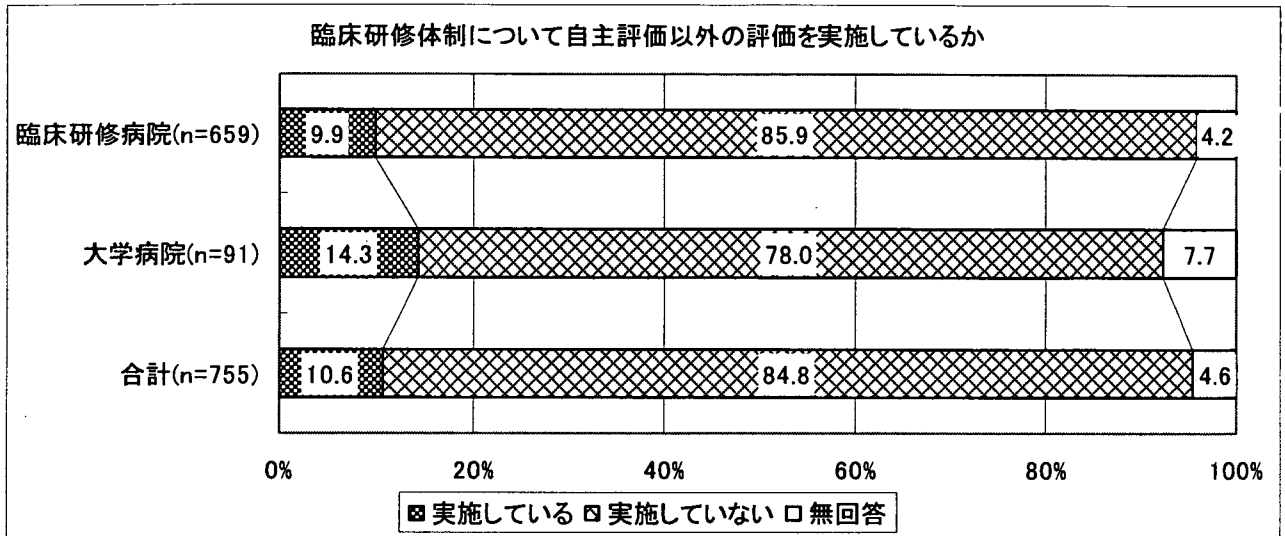
1) 臨床研修についての自主評価の実施の有無

臨床研修体制について、自主評価を実施しているのは、臨床研修病院では26.7%、大学病院では35.2%、自主評価していないのは、臨床研修病院では70.6%、大学病院では60.4%であった。



## 2) 臨床研修についての自主評価以外の評価

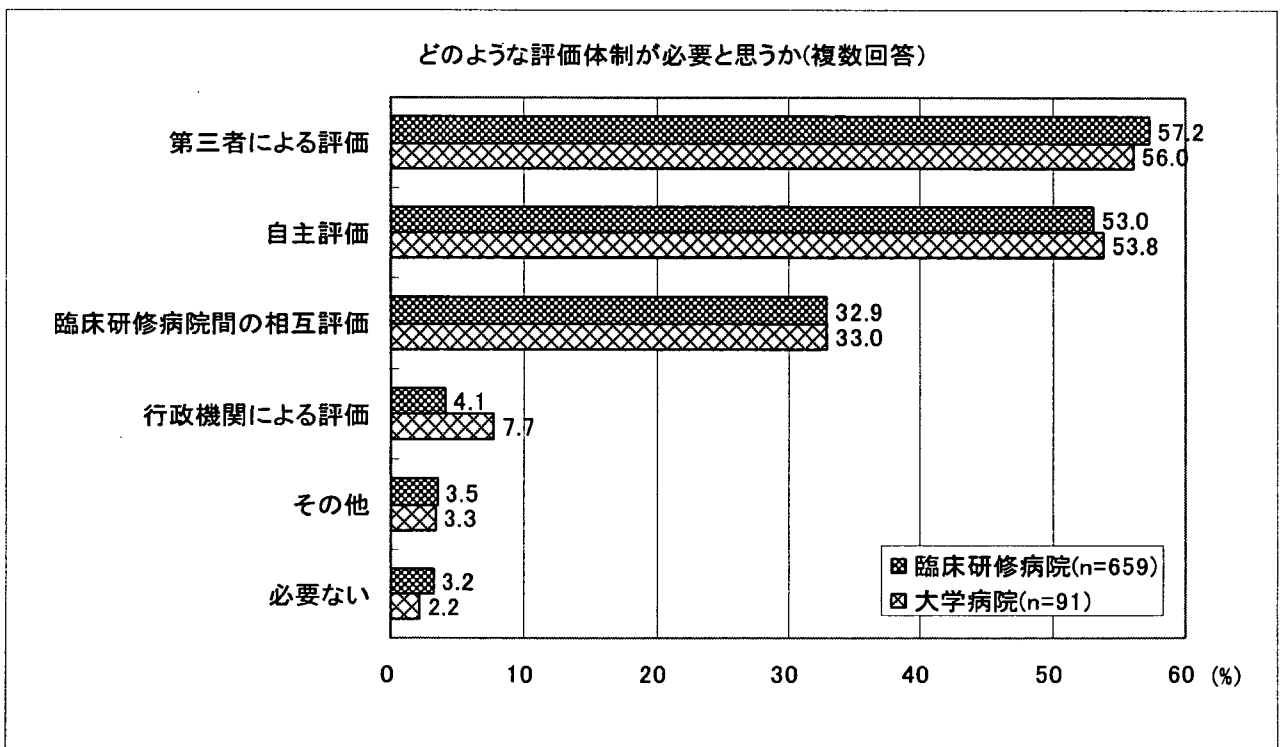
臨床研修体制について、自主評価以外の評価を実施しているのは、臨床研修病院では 9.9%、大学病院では 14.3%、自主評価以外の評価を実施していないのは、臨床研修病院では 85.9%、大学病院では 78.0%であった。



## 3) 臨床研修についての必要な評価体制について

必要な臨床研修の評価としては、臨床研修病院、大学病院ともに、「第三者による評価」、「自主評価」が多い。

(なお、本データは、「評価している」と回答した病院がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、アンケートに回答した全ての病院数を分母として計算している。)



(7) 新医師臨床研修制度による病院の変化について

新制度の臨床研修病院に指定されて、「よくなった」と回答したのが臨床研修病院では57.8%、大学病院では34.1%、「悪くなった」と回答したのが臨床研修病院では3.2%、大学病院では12.1%、「変わらない」と回答したのが臨床研修病院では25.3%、大学病院では28.6%、「わからない」と回答したのが臨床研修病院では10.5%、大学病院では19.8%、「その他」と回答したのが臨床研修病院では1.5%、大学病院では4.4%、「無回答」と回答したのが臨床研修病院では1.7%、大学病院では1.1%、合計では1.6%であった。

